

富田林市子ども読書活動推進計画

平成25年度～29年度



富田林市

はじめに



富田林市長 多田利喜

子どもにとって読書とは、豊かな感性や情操、思いやりの心をはぐくみ、基礎学力を育てるために、非常に大切なものです。

人間は、言葉を得ることで、感情を伝え、コミュニケーションをとり、思索を巡らし、知識を高めることができるようになりました。また、文字を手にしたことで、時間を越えて、言葉を伝えることが可能になりました。

読書活動は、言葉を学び、表現力を高め、感性を磨き、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、非常に有用であります。

近年、我が国における少子高齢化社会の進展は、子どもや子どもを取り巻く環境を大きく変化させています。本市では、これまで、子育て家庭を地域全体で応援し、子どもが心身共に健やかに育つための環境整備を行ってきました。そのような中で、子どもにとって読書が心の栄養になることが認識され、子どもたちが生活する多くの場所で、子どもの読書活動が取り組まれてきました。

この度、「子ども読書活動の推進に関する法律」に基づき、読書の重要性を再認識し、市全体で、更なる推進を図るため、「富田林市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。

本計画を推進するためには、行政をはじめ、家庭、学校、NPO やボランティア、そして地域の子どもに関わるすべての方々の連携・協働が必要となりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、この計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提言をいただきました「富田林市子ども読書活動推進計画策定委員会」の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力をいただきました市民並びに各種団体の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成25年3月

目次

第1章. 子ども読書活動推進計画の策定の趣旨と経緯	1
第2章. 基本方針	
1. 計画の目的	2
2. 基本目標	2
3. 計画の期間	2
第3章. 現状とこれからの取り組み	3
1. 家庭における子ども読書活動の推進	3
2. 地域における子ども読書活動の推進	4
3. 保育園・幼稚園における子ども読書活動の推進	6
4. 学校における子ども読書活動の推進	8
5. 図書館における子ども読書活動の推進	10
第4章. 子ども読書活動推進計画の推進のために	12
1. 推進体制の整備	12
2. 人材の育成・研修、協力体制	12
3. 啓発・広報	12
資料	14
子ども読書環境に関する調査・アンケート	15
子どもの読書活動推進に関する法律	51
子ども読書活動推進計画策定の経過	53

第1章. 子ども読書活動推進計画の策定の趣旨と経緯

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上での欠くことのできないものです。

近年、テレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及や子どもの読書環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成等により、子どもの読書離れが指摘されています。富田林市は子どもの読書活動の重要性に着目し、学校や図書館のみならず、子育て支援現場でもこれまでも様々な施策を実施してきました。

平成11年8月、国は子どもの読書活動を支援するため、平成12年を「子ども読書年」とし、平成13年12月に、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されました。同法では、すべての子どもがあらゆる機会に自主的に読書活動が行えるよう環境の整備が推進されることを基本理念として定め、国や地方公共団体の責務を明らかにするとともに、「子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」を策定・公表することを定めています。

この法律に基づき、国は平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定し、これを受けて、大阪府は平成15年1月に「大阪府子ども読書活動推進計画」を策定しました。その後、国は第1次子ども読書活動推進計画の成果と課題を踏まえ、平成20年3月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第2次)を策定しました。

また、平成16年2月の「これからの時代に求められる国語力について」(文化審議会答申)では、人々の生活を取り巻く環境が急速に変化して行く社会で、多様で円滑なコミュニケーションを行う能力や、他人の痛みを自分の痛みとして感じるような情緒力、国際化の進展によって必要になる論理的思考力の育成等には、国語力が極めて重要とされとされています。また、若い世代において、言葉を適切に用いて人間関係を維持していく「関係形成能力」が衰えていると指摘しています。そして、国語力の向上には、国語教育に加えて、読書活動が最も有効な手段であるとしています。

大阪府においては、平成21年1月には、「大阪の教育力向上プラン」を策定し、基本方針の「子どもたちの豊かな心をはぐくみます」とした重点項目の中で、「読書力の推進」を挙げており、平成23年には、この項目の具体的な推進計画でもある第2次大阪府子ども読書活動推進計画を策定し

ました。

富田林市においても、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動が行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備を推進するため、今後の子ども読書活動の推進に関する施策の方向性や取り組みを示し、その基本となる「富田林市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

第2章. 基本方針

1. 計画の目的

第2次大阪府子ども読書活動推進計画をふまえ、常に子どものそばに本のある環境をめざします。

子どもの読書活動には、活動を支援する人の存在が大切です。子どもの読書活動に関わる人を増やし、その知識やスキルアップを図り、人々の連携の強化によって、子どもの読書活動のさらなる推進をめざします。

2. 基本目標

子ども読書活動推進のために、以下の目標を定めます。

- ① 家庭・地域・学校での読書の機会と環境の充実
- ② 地域・学校・図書館などの連携
- ③ 読書推進の啓発

3. 計画の期間

平成25年度～平成29年度

第3章. 現状とこれからの取り組み

1. 家庭における子ども読書活動の推進

[現状]

家庭は子どもが安心して健やかに育まれるためのもっとも基本的な生活の場です。絵本などの読み聞かせは、情緒や言葉の発達、読書を楽しむ能力を育てるものであり、特に幼い子どもの場合は、家庭での絵本などの読み聞かせを通じて、読書に親しむことがその後の読書活動を左右すると言われています。また、読み聞かせなど本を仲立ちとした親子間のコミュニケーションは、幼い子どもたちと保護者に安定した楽しい時間と関係をもたらしてくれます。

本市では、4か月児健診時にブックスタート事業を実施しています。ブックスタート事業とは、4か月児健診時に、乳児に絵本をプレゼントし、図書館から保護者に絵本を通して乳幼児との触れ合いの必要性を説明するもので、同時に乳幼児サービスボランティアの方に絵本の読み聞かせをしていただいています。また、3歳6か月児健診時にはおすすめ絵本のリスト配布や、ボランティアによる絵本の読み聞かせも実施しています。

図書館では、赤ちゃん（6か月以上1歳未満）とその保護者が絵本の読み聞かせやわらべ歌を楽しむ「あかちゃんのおはなし会」を実施しています。このおはなし会では年に2回保健師が親子の絆の大切さに関しての話をするなど、健やかな子どもの成長に寄与できるよう保健センターと連携を図っています。

また、図書館から各市立小学校を訪問し、小学1年生にブックトーク（本の紹介）と大型絵本の読み聞かせなどを実施して、文字を学び始めた子どもたちに、読書の楽しさを伝えるとともに、図書館利用を促すオリエンテーションを実施しています。

[これからの取り組み]

子どもが保護者とともに、いつでも本に触れ合える環境をめざします。

保護者が、家庭で子どもに本を読み聞かせる意欲をもってもらえるよう努めます。

すでに実施しているブックスタートをはじめとして、子どもの成長とともに継続して絵本などに触れてもらえるようなフォローアップの取り組みをします。

	事業名	内容	担当
読書に関する理解の推進	ブックスタート事業	保健センターでの4か月児健診以降でも、健診の度に継続して絵本の読み聞かせの重要性を伝えていきます。引き続き、協働するボランティアは、参加する親子に読み聞かせなど実施します。	図書館 保健センター
	保健センターでの情報提供	保健センターでは、プレ☆ママパパの教室が開催されていますが、赤ちゃんの生まれる前から、読み聞かせが親子の安定したコミュニケーションをもたらすことや、その後の赤ちゃんの育ちの中での重要性を伝えていきます。	図書館 保健センター
		保健師は、妊婦や子育て中の保護者に対し、健やかな育児に関する情報提供及び子育てにおける悩みや相談に対応し、健全な養育を支援して行く立場から、読み聞かせが親子に与える良い影響について、図書館や読書推進に関わるボランティアと連携して、家庭での読書を側面からサポートするように努めます。	
	あかちゃんのおはなし会	家庭での読み聞かせの重要性を伝えていくとともに、親子で参加するあかちゃんのおはなし会の対象を、現状の「6か月から1歳まで」を「6か月から1歳まで」「1歳から2歳まで」に拡大します。	図書館
小学生のオリエンテーション	小学1年生のオリエンテーションが、家庭での自発的な読書のきっかけになるように促します。	図書館	

2. 地域における子ども読書活動の推進

[現 状]

家庭での子どもへの読み聞かせは、親子に穏やかな楽しい時間をもたらすとともに、その安定した環境が子どもの自主的な読書の源になります。現在は、地域での繋がりが希薄化し、子育て家庭の孤立化が懸念されています。「子育ての基本は家庭にあります。次代を担う子どもの育ちや子育てを社会全体で見守り、支えていくことが大切です。親と子の育ちを地域で支え、地域での交流を通じて、地域のすべての人が子育ての楽しさと大変さを分かち合えるよう」(富田林市次世代育成支援行動計画)に、子育て支援の多くの取り組みがなされています。主に乳幼児とその保護者を対象と

した子育て支援の取り組みである保健センターでの育児教室、児童館の乳幼児クラブ、地域での「つどいの広場」※1、「地域子育て支援センター」※2、「子育てサロン」※3 などでは、様々な講座や遊び、保護者間の自由な交流の中で、絵本の読み聞かせなどを取り入れています。

また、児童館では、放課後児童の居場所提供と遊びや集団生活を通じて、定期的に読書の時間を設けたり、夏休みには、親子ふれあい事業で、読書活動を取り入れるなどしています。地域のボランティアなどが中心となる事業では、絵本ボランティアによる親と子の絵本を楽しむ会を実施しています。

放課後、小学生が過ごす学童クラブでは、学童保育の中で、図書館から団体貸出しを利用するなど、身近に本を用意して、自由な読書時間に活用しています。

地域では、4か所の子ども文庫が、地域の集会所などで長年にわたって活動し、地域の子どもたちに本との出会いの場を提供しています。

また、図書館ばかりではなく、幼稚園や学校などで、お話や絵本の読み聞かせを行っているボランティアが、子どもたちと本の橋渡しをしています。

「チューリップ教室」※4 では、幼児及びその保護者に対して、教室の中で読み聞かせや、参加者の親子に図書の貸出しなどをしています。

とんだばやし国際交流協会が開催している「にほんごよみかき教室」は、日本語が習熟できていない人々を対象に「よみかき」を学ぶ場所であり、図書館の本を活用して、日本語を母語としない家庭への支援を実施しています。

※1 つどいの広場：主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集いうち解けた雰囲気の中で交流や育児相談が行える「つどいの広場」に図書を置き、随時読み聞かせを行うとともに自由に親子に読んでいただいている。

※2 地域子育て支援センター：少子化や核家族化で子育てに悩みを持つ保育にあたる人を、子育てサークルや相談指導などを通じて、育児支援を行っている。富貴の里保育園と梅の里保育園で実施。

※3 子育てサロン：富田林市社会福祉協議会の内部組織で地域福祉委員会(おおむね小学校区単位に結成された民間の自主的な団体で、校区内の身近な福祉問題を解決するために地域に組織されている各種団体の協力を得ながら福祉のまちづくりを進めている)活動の一環として、母子の閉じこもり防止や参加者相互の仲間作りを目的に、地域で開催。

※4 チューリップ教室：1歳7か月児健康診査・3歳6か月児健康診査などで、集団の場において、フォローが必要と思われる子どもと保護者を対象に、年齢に応じた教室を開催。あそびを通して、親子のふれあいを大切に、子どもと保護者が楽しく過ごせるように援助したり、さまざまな相談に応じている。

[これからの取り組み]

子育て支援活動における、子どもたちが集う場所において身近に本に接する機会と、環境の整備を図り、子どもの読書活動の支援に努めます。

子育て支援活動にかかわる人々に子どもの読書に関する理解と関心を深めるよう努めます。

	事業名	内容	担当
読書機会の拡大	児童館	本の充実に努め、本にかかわる講座をさらに充実します。	児童館 図書館
	学童クラブ	読書ができる時間や紙芝居の時間を設けるなど、子どもたちの落ち着いた日常と、読書習慣を育成するよう努めます。	子育て支援課 図書館
		担当課の連絡箱なども利用して、図書館は団体貸出しをしたり、絵本などの読書の情報等を提供します。	
	子育てサロン	絵本の読み聞かせなど、親子が読書にふれることのできる機会を設けます。	富田林市社会福祉協議会 図書館
子ども文庫活動	それぞれの文庫の特色を生かしながら、子どもと保護者が本に親しむ場の提供を行います。	子ども文庫 図書館	
人材の育成	子育て支援にかかわる人々の読書に関する理解	子育て支援の活動にかかわるすべての人々が、読書についての研修や理解を深め、読書活動を推進できるように努めます。	児童館 子育て支援課 富田林市社会福祉協議会 図書館
人材の育成と連携	ボランティア養成と情報発信	子ども読書活動にかかわるボランティアの育成と研修を実施し、読書推進にかかわるすべての人々のネットワーク作りを進めるとともに、地域での読書活動の情報を収集し、発信します。	児童館 図書館

3. 保育園・幼稚園における子ども読書活動の推進

[現状]

市内には保育園が市立6園・私立8園、幼稚園は市立12園・私立6園があり、保育園には1、

707 人が、幼稚園には1,644人（平成24年5月1日現在）の子どもたちが在籍しています。多くの子どもたちが、園で初めて集団生活を体験し、多くの時間を過ごしています。保育所保育指針や幼稚園教育要領では、「絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう」などの中で、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ことを教育の狙いとしています。

各園では、子どもの発達年齢に応じた絵本などの読み聞かせが行われています。また、家庭での読書のために、絵本などの貸出しを実施したり、図書館へ訪れ団体貸出しを利用したりしている園もあります。

幼児教育センター※5や幼稚園、保育園で、園庭開放などを実施し、地域で就学前児童の子育てを行う家庭に、子育てに関する支援を行うなかで、絵本の読み聞かせを積極的に取り入れたり、絵本の貸出しを実施したりしています。

※5 幼児教育センター：子育て支援を目的として、学齢期前の幼児とその保護者に、園庭や室内を開放して遊んだり、交流などの活動をする。富田林幼稚園と青葉丘幼稚園内に設置。

[これからの取り組み]

保護者や子どもにかかわる人々が絵本を通じて、子どもの育ちを支えます。

	事業名	内容	担当
読書機会の拡大	絵本に親しむ機会の増大	年齢に応じた絵本を提供するとともに、子どもに絵本の楽しさを伝えていきます。また、様々な機会を利用して、保護者とともに、絵本に親しむ機会を増やします。学齢期の準備として、家庭や園内以外での読書体験を増やし、小学校に入学してからの自由で自発的な読書につながるように努めます。	保育園 幼稚園 図書館
読書環境の整備	園での読書環境の充実	園の絵本などの充実に努めるとともに、担当課の連絡箱なども利用して、図書館は団体貸出しをしたり、絵本などの読書の情報等を提供します。	保育園 幼稚園 図書館
読書活動の啓発	子育て支援事業での読書活動の啓発	園庭開放やのびのび広場では、子どもたちが自由に安心して遊んだり、仲間づくりをしたりする場所を提供する中で、絵本を活用した乳幼児の豊かな育ちをめざし、将来の読書習慣に結びつくように図書館と連携を進めます。	保育園 幼稚園 図書館
人材の育成	研修	保育士や幼稚園教諭は、絵本などの教材研究や指導方法の研究を行います。	保育園 幼稚園

4. 学校における子ども読書活動の推進

[現 状]

読書は子どもたちが、社会性を身につけ、社会の一員になっていく過程で生じるさまざまな課題を乗り越えていくために必要な知識や、疑似体験の機会を提供するもので、まさしく生きる力をはぐくむものです。学校における読書活動は、子どもの語彙を豊かにし、思考力を養うなど学力の基盤であり、情緒豊かな心を育成する上で非常に大切です。

そのため、学校では日々の各教科や図書の時間はもちろんのこと、朝の読書活動※6に取り組んだり、教室には学級文庫を設置するなど、子どもの読書に親しむ機会をふやし、読書習慣を身につけ、読書体験を豊かにする取り組みを行っています。

また、調べ学習などの児童・生徒の主体的な学習活動の実施のためにも、学校図書館での読書活動は必要なものとなっています。司書教諭と図書担当職員、学校図書館教員補助員※7が連携して、学校図書館を運営し、子どもたちの自由な読書活動や、授業での調べ学習に活用しています。また、学校図書館では、市立図書館からの定期的なブック便(図書館配本便)を利用し、子どもたちの読書活動や調べ学習に対応しています。

※6 朝の読書活動：学校の授業が始まる前の10分間程度、全員が好きな本を読む取り組み。^{あさどく}朝読ともいう。

※7 学校図書館教員補助員：学校図書館に関わる業務を教員と連携してすすめる司書資格を持つ指導員。

富田林市立全小・中学校の学校図書館に配置。

[これからの取り組み]

OECDの学力調査※8で、読解力は、単に本を読むことではなく、様々な図書を選び、読み、生かしていく力とされています。子どもたちには、幼いころから育んだ読書習慣をのばし、読書をする力をつけ、読んだ資料を使いこなす力を養うことをめざします。学校図書館は、「読書センター」として、発達段階に応じた多様な図書の収集に努めます。また、「学習情報センター」として、学習内容と関連した図書などを整備し、学習支援機能の充実に努めます。

※8 OECD(経済協力開発機構)の学力調査:日本では高校1年生を対象とした国際的な生徒の学習到達度調査のこと。「知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかどうかを評価」するもので、国際的な学力評価として日本でも「新しい学力」の方向として近年注目されている。

	事業名	内容	担当
読書機 会の拡 大	読書指導の 充実	朝の読書活動などを子どもの読書体験の時間と位置づけ、学校や学級単位での読書活動が一層広がるような実践に取り組みます。	学校
		学校図書館や学級文庫、市立図書館の図書も活用して、障がいのある子どもたちの読書活動の推進を図ります。	
読書環 境の整 備	学校図書館 の充実	学校図書館は、「読書センター」として、発達段階に応じた多様な図書の収集に努めます。また、「学習情報センター」として、学習内容と関連した図書などを整備し、学習支援機能の充実に努めます。	教育総務課 図書館
		国・府の交付金や、とんだばやしふるさと寄附金など様々な機会も活用し、資料の増加に努め、ブック便(図書館配本便)を利用した多様な資料や、調べ学習などで活用できる、授業に対応した資料の提供に努めます。	
	情報活用能 力の育成	司書教諭や学校図書館教員補助員が協力して、図書館の使い方などを説明し、学校図書館を活用した調べ学習の推進を図ります。	学校
人材の 育成、 連携体 制の強 化	研修	読書指導や学校図書館の活用等の研修を通じて、教職員の指導力の向上を図ります。	教育指導室 学校
	読書活動を サポートす る人のスキ ルアップ	多くの情報の中で、情報を選択し、使いこなす力を身につけるためには、子どもの読書活動をサポートする人が重要になります。そのために、司書教諭や学校図書館教員補助員の連絡会などにおける連携と相互研修、また、市立図書館との連携により、子どもの読書活動を支える人のスキルアップを図ります。	教育指導室 学校 図書館

5. 図書館における子ども読書活動の推進

[現 状]

図書館では、学校や保健センターなどの関係機関や、市民ボランティアとの連携を図り、さまざまな児童サービスを展開しています。

子どもの多様なニーズにこたえるため、幅広く多様な図書等をできる限り多く収集し、季節やテーマに応じて、本の展示をしています。また、「あかちゃんコーナー」を設置し、あかちゃんむけ絵本だけでなく、幼い子が初めて出会う科学絵本や、育児・子育てに関する一般書も並べ、子育て家族の情報コーナーにしています。

乳幼児には、保健センターで実施の4か月児健診時に、読み聞かせのボランティアと連携・協力してブックスタートに取り組んでおり、図書館ではフォローアップ事業としてあかちゃんとその保護者を対象とする「あかちゃんのおはなし会」を実施しています。また、お話会とじゅうたんコーナーでの読み聞かせに取り組んできました。

小学1年生には、各学校を訪問し、読書の楽しさと図書館利用を促すオリエンテーションを実施しています。夏休みに入る前には、お勧めの本の紹介を「夏のおてがみ」として、全市立小・中学生に配布するとともに、夏休み期間中はコーナーを設けてお勧め本を展示しています。

学校図書館に、授業に使用される資料相談に応じ、ブック便で定期的に配本を行い、学習センターとしての機能のサポートを行っています。

また、身近な読書に活用してもらうため、小・中学校の学級や学童クラブ、幼稚園・保育園、子ども文庫、地域の子育て支援の場などに団体貸出しを実施しています。

図書館への関心を持ってもらうために、小学生の図書館見学や、一般的に読書離れがいわれる中・高校生のために、図書館に親しみ読書習慣を継続してもらえるようにヤングコーナーを設置しています。

[これからの取り組み]

子どもたちの多様なニーズにこたえるために、それぞれの年齢にあった資料の充実に努めます。誰で

もが、どこでも読書と親しめるように、図書館は、学校、保健センターなどの関係機関と連携を密にし、市民ボランティアなどとの連携を強化して、子どもにかかわる人々が、子どもの読書についての関心と理解を深められるよう取り組みます。また、図書館司書の児童サービスにかかる資質の向上に努めます。

	事業名	内容	担当
読書環境の整備	資料の充実	子どもの多様なニーズにこたえる資料の充実に努めるとともに、外国語や視聴覚資料などを含め、魅力的な資料を収集します。	図書館
	子どもたちのためのお話会	子どもを対象とした読み聞かせなどを充実させます。	図書館
	中・高校生サービスの充実	中・高校生の興味・関心に応えたコーナーを充実させます。 高校(学校図書館など)への情報提供や連携に取り組みます。	図書館
読書機会の充実	障がいのある子どもたちへの支援	障がいのある子どもたちのためのLLブック※9の収集に努め、LL版図書館利用案内を活用して市立図書館のPRを行い、利用に繋げていきます。 各校の支援学級に団体貸出しを実施します。	図書館
	日本語を母語としない子どもたちへの応援	関連部署等とも連携して、日本語を母語としない子どもたちへ貸出しなどで応援します。	図書館
学校図書館への援助	学校図書館配本便(ブック便)	学校への配本便(団体貸出)を充実させます。	図書館 学校
	レファレンスへの対応	調べ学習などで必要になったレファレンスに対応したり、必要な資料を提供します。	図書館 学校
連携体制の強化	読書活動実務担当者との連携	学校図書館担当職員、保健センターの保健師などや、市民ボランティアと連携し、推進体制を強化します。 幼稚園・保育園・学童クラブ等への配本等の物流については、今後検討を行います。	図書館 保健センター 教育指導室 その他
人材の育成啓発	職員の研修	児童サービスに関する研修を実施し、資質の向上に努めます。	図書館
	読書に関する講座やボランティア養成	子どもの読書についての講座や、読み聞かせのボランティア養成講座などを開催します。	図書館
読書活動の啓発	出前講座や読書情報の発信	図書館からの出前講座なども利用して、子どもの本に関する情報や、資料を提供し、子どもの読書に関する関心と理解を深められるよう努めます。	図書館

※9 LLブック：知的・学習障がいなどの子どもたちにわかりやすいように絵や図を多用したやさしく読みやすい本

第4章. 子ども読書活動推進計画の推進のために

1. 推進体制の整備

庁内で作る「子ども読書活動推進会議」により関係各課の情報や事業調整、進行管理を行い、「子ども読書活動推進計画」の効果的な推進を図ります。

実務担当者会議を分科会として、情報共有、連携・研修などを行います。

本計画に掲げられた取り組みを実施し、市は必要な財政上の措置を講ずるよう努めます。

2. 人材の育成・研修、協力体制

子どもの読書にかかわる人材の育成と研修を実施します。

関係機関の子どもの読書活動を推進する実務担当者による交流・研修のための機会を広げ、市民団体との交流の場を持つことで、連携を強化し、協力体制を整えます。

3. 啓発・広報

広報、ホームページ、子どもインフォメーションなどを活用して、子どもの読書に関する情報を提供します。

数値目標

計画の実現に向けて、具体的な成果がわかるものの数値目標を設置しました。目標値については、進捗状況に合わせて、適宜見直します。

	内容	H23	H28
学校	学校図書館図書標準※10に対する達成度	(小学) 92.6%	100%
		(中学) 76.5%	100%
	読書が好き(小6) 増	45.5%	50.0%
図書館	ブック便貸出増	6,525冊	9,000冊
	あかちゃんのおはなし会等参加者増	539人	800人
児童館	絵本を楽しむ会参加者増 (保護者を含む)	108人	150人
学童クラブ	団体貸出冊数増	1,780冊	2,500冊
保育園・幼稚園	図書館訪問、団体貸出回数増	77回	100回
保健センター	保護者への読書に関する情報提供増	1,618人	2,400人
図書館等	読書に関する研修・講座など	9回	20回

※10 学校図書館図書標準;公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準冊数

資料

子ども読書活動に関する調査について

調査目的

本年度、富田林市子ども読書活動推進計画を策定するにあたり、子どもの読書環境や読書の状況を把握し、子ども読書活動推進計画の参考にすることを目的に調査を実施いたしました。

A 子ども読書環境に関する調査の実施について

1. 対象施設

市内全市立小学校	16校	私立小学校	1校
市立中学校	8校	私立中学校	2校
公立高等学校	3校	私立高等学校	2校
市立幼稚園	12園	私立幼稚園	6園
市立保育園	6園	私立保育園	8園
学童クラブ	19クラブ		

(市内私立園・小・中学・高校も含む)

2. 調査日時

平成24年7月

B 子ども読書に関するアンケートの実施について

1. 対象児童・生徒

市内全小学3年生・6年生・中学3年生
(市内私立小・中学校も含む)

2. 調査日時

平成24年7月 6日～20日(夏休みまでに)

C 子ども読書に関するアンケートの実施について

1. 対象

4か月児健診受診保護者(市立保健センター)

2. 調査日時

平成24年7月～10月(計3回程度)

子ども読書活動推進計画にかかる調査（保育園）

H23 年度実績調査（H22 年度でも可）

保育園 回答数 12 園 / 14 園中

1. 年齢（学年）別の園児数をご記入ください。（私立含む）

園児数（14 保育園）

	保育園児数	14 保育園平均
0 歳児	122 人	9 人
1 歳児	261 人	19 人
2 歳児	315 人	23 人
3 歳児	326 人	23 人
4 歳児	336 人	24 人
5 歳児	347 人	25 人
保育園児数合計	1,707 人	122 人

（小数点以下四捨五入）

2. 園で所蔵されている本の冊数及び年間どのくらい購入されているかをご記入ください。

所蔵冊数（無記入 1 園）

所蔵冊数	保育園数	
1～500 冊	2 園	
～1000 冊	8 園	
～2000 冊	1 園	
合計所蔵冊数		9,467 冊
平均所蔵冊数		861 冊

（小数点以下四捨五入）

購入冊数

購入冊数		
1～50 冊	10 園	
～100 冊	2 園	
合計購入冊数		292 冊
平均購入冊数		24 冊

（小数点以下四捨五入）

3. 富田林市立図書館の団体貸出を利用されたことがありますか。

ある 6園 → A. 〇
ない 6園 → B. 〇

A. 利用されている場合、使いにくい点や改善してほしい点があればご記入ください。

- 大型紙芝居の種類を増やしてほしい。
- 紙芝居、絵本を充実させてほしい。
- 大型絵本をよく借りるが重量があるので、1、2冊しか借りられないので、月1回程度でつつじ号の様に各園を回してほしい。

B. 利用されていない場合、その理由をお聞かせください。

- 図書館が遠い。移動図書館を利用したいが、職員の意識がまだそこまでしていない。
- 行く機会を見つけられなかったが、今後見つけて利用していきたい。
- 図書館とは、距離があるのでなかなか利用できない。
- 園にある絵本などで十分だと思う。
- 団体貸出というシステムを知らなかった。
- 時間、場所を考えると余裕がなく参加できなかった。

4. 先生によるよみかかせの頻度・時間帯についてご記入ください。

頻度

①毎日	3園
②1日2~3回	3園
③1日3~4回	2園
④1日5回以上	3園
⑤頻繁にある。	1園

時間帯 (複数回答)

①午前8:30~	1園
②午前9:00~10:00 (朝の集会、おやつ前後)	10園
③午前10:00~11:00	2園
④午前11:00~12:00	3園
⑤午前12:00~午後13:00	12園
⑥午後15:00~16:00	4園
⑦午後18:00以降	6園
⑧設定保育の前後	1園
⑨随時、読んでときた時。	2園

5. よみきかせ以外での本の活用方法についてご記入ください。(複数回答)

- ・行事にむけて利用、活用。 2園
- ・保育参加日、園庭開放で園内で自由にみてもらっている。 2園
- ・子どもや保護者に貸出しをしている。 2園
- ・子どもが自由にいつでも読めるようにしている。 2園
- ・園庭開放で地域の親子へ貸出しをしている。 5園
- ・図鑑等で自然や生物、植物などの調べものに活用。 4園
- ・工作、クッキング、どろ団子づくりなど、生活や遊びに活用。 3園
- ・昔話に添った、はさみの練習本があるので、その時に昔話の読み聞かせをしています。
- ・園児はちょっとした時間に自分で本をみて楽しんでいる。

6. 保護者や市民ボランティアによるよみきかせやおはなし会を実施したことがありますか。

ある 2園 →Aへ
 ない 10園

A. 保護者や市民ボランティアによるよみきかせやおはなし会の実施状況を教えてください。

<u>名称</u>	①出前講座(青葉丘幼稚園内の第2幼児センター) 1園	
	②個人で自分の作った大型絵本の読みきかせをやっておられる方。 1園	
<u>頻度</u>	①1回(10月) 1園	
	②昨年は年3回 1園	
<u>時間帯</u>	①午前10:00~11:00 1園	
	②木曜日の午前中 1園	

7. 子どもの読書に関する行事等を開催されていたらご記入ください。

- ・園庭開放など子育て支援事業での貸し出し。
- ・園が購入している物とは別で、保護者会が絵本を購入して、在園児に貸し出しをしている。利用する子どもは多い。
- ・今年度初めて夏祭りによみきかせを取り入れる。七夕、お月見会の時に紙芝居のよみきかせをしている。
- ・毎年11月中旬頃に、講師に依頼して講演会をしている。(保護者、地域の人対象)
- ・地域支援・・・園庭開放、子育て講座、読み聞かせ、紹介。
- ・大型絵本を見る日がある程度で、特に行事としていない。

8. 子どもの読書推進のために、富田林市立図書館に望むことがあれば、ご記入ください。

- 保育園に読み聞かせに来てほしい。 2園
- 布の絵本や異素材の絵本も置いて欲しい。大型絵本の増量
(人気本は、なかなか借りられない時があり)
- 定期的に移動図書館に来てもらいたい。
- 市民ボランティアによる読みきかせ活動の内容などの情報を教えてほしい。
- 移動図書館でもよいので、借りの経験を5歳児にさせてあげたい。
- リサイクル図書は毎年いただきとても助かっています。
- お話し会の時間帯を2:30~3:00にさせていただくと、5歳児がひるねなしになってから行きやすい。
- 喜志分室は子どもを連れて入りにくい。(土曜保育の子ども達10名程連れて行きたいが。)

9. 子どもの読書環境をよくするために貴園で取り組みたいこと、必要と思われることをご記入ください。

- 子ども達が、片付けたりとり出したりしやすい本棚の設置。 2園
- 絵本と触れ合える環境を作りたい。本の楽しさや興味を持ってほしい。 2園
- 園内に設置している図書コーナーの充実。 2園
- 家庭向けに貸し出しを行っていきたい。 2園
- 児童書、保護者向けの本の購入したい。 2園
- たくさん絵本を読みきかせる。
- 本を購入できる予算措置。
- 日々の保育におわれて集団的に取り組みがちではあるが、集団を小さくして読むことも大切だ
と思う。
- 読みきかせの勉強会に参加する。
- 新書を購入したいが、予算の関係で無理。絵本等の新書情報をサイポーズで知らせてほしい。

10. その他、子ども読書活動推進計画に関するご意見がありましたらご自由にご記入ください。

- 図書館で行われている「おはなし会」には行けないので、保育園へ「おはなし会の人」がきて
していただければ、子どもたちはとても喜んでみると思います。また違った雰囲気の中、興味も
生まれてくると思います。
- 子どもたちに読みきかせ(ボランティアで)きてほしい。
- 年が大きくなるにつれ、本離れが進むので幼年期に良い本、楽しい本を知って欲しいので
がんばってほしいと思います。

子ども読書活動推進計画にかかる調査（幼稚園）

H23 年度実績調査（H22 年度でも可）

幼稚園 回答数 16 園 / 18 園中

1. 年齢（学年）別の園児数をご記入ください。（私立含む）

園児数

	幼稚園児数	16 園 平均
3 歳児	363 人	23 人
4 歳児	668 人	42 人
5 歳児	613 人	38 人
幼稚園児合計	1,644 人	91 人

（小数点以下四捨五入）

2. 園で所蔵されている本の冊数及び年間どのくらい購入されているかをご記入ください。

所蔵冊数

（無記入 1 園）

所蔵冊数	幼稚園数	
1～500 冊	1 園	
～1000 冊	4 園	
～2000 冊	5 園	
～3000 冊	5 園	
合計所蔵冊数		24,488 冊
平均所蔵冊数		1,633 冊

（小数点以下四捨五入）

購入冊数

（無記入 1 園）

購入冊数	幼稚園数	
1～50 冊	13 園	
～100 冊	2 園	
合計購入冊数		597 冊
平均購入冊数		40 冊

（小数点以下四捨五入）

3. 富田林市立図書館の団体貸出を利用されたことがありますか。

無記入 1 園
 ある 12 園 → A. ^
 ない 3 園 → B. ^

- A. 利用されている場合、使いにくい点や改善してほしい点があればご記入ください。
- 時間帯等を配慮していただき助かっている。 3園
 - 優しく丁寧に絵本の探し方や扱い方を教えていただき、とても感謝している。
 - 大型絵本を読み聞かせていただいたりしているので、大変ありがたい。
 - 幼児の本が少ない。本の著者名で並べてほしい。
 - 図書館の方の絵本のよみきかせがあれば、もっと図書館に対する関心が高まると思う。
 - 子どもが団体で初めて利用する公共施設ですので、いい印象をもてるような対応であって欲しい。
- B. 利用されていない場合、その理由をお聞かせください。
- 団体貸出のシステムなどよくわからないため。
 - バスを利用しないと行きにくい。バス（市マイクロバス）の予約がとりにくい。
 - 園内の図書の本の整備や数の把握までも不十分の為。
 - 遠い。

4. 先生によるよみきかせの頻度・時間帯についてご記入ください。

<u>頻度</u>	① 毎日	10園
	② 毎日1～3回	1園
	③ 毎日1～2回	1園
	④ ほぼ毎日	3園
	⑤ 週2～3回	1園
<u>時間帯</u> （複数回答）	① 降園前	9園
	② 昼食前	4園
	③ 食後等(午後1:00頃)	4園
	④ 午後13:30～13:45	2園
	⑤ 午後14:00～15:00の間	1園
	⑥ 保育に合わせて読む	1園
	⑦ 課業後保育	1園
	⑧ 5分程度	1園

5. よみきかせ以外での本の活用方法についてご記入ください。

- 子どもや保護者に貸し出し。(週一回定期) 10園
 - 家庭で読み聞かせした様子を「絵本ノート」に記入してもらっています。
 - 親子で絵本を選び、親が読むように啓発している。
 - お料理づくりから食育、子育て支援へつなげる。
- 工作、絵画活動、絵画製作に活用。 6園
- ごっこ遊び、表現遊び、劇遊びに活用。 4園
- 図鑑、観察や飼育、栽培などに活用。 4園
- 教師の教材研究、指導（躰の指導含む） 3園
- 季節感のある絵本の展示。

- 本からの刺激、感動、友だちとの共感交流を通じて遊びにつなげる遊びを創る。
- 地震などの災害の本を借りて避難訓練時に活用。
- 図書館で借りた本を家庭に持ち帰り、読み聞かせをして親子で絵本に親しめるようにしている。
- 生活習慣、人間関係、表現、言語、健康、自然すべてにわたって関連した活用。
- 体験したことが、知識や知恵となっていくような出会いに絵本や図鑑を活用。
- 保護者が絵本の貸出当番として活動されている。保護者に貸し出し、子育て支援に活かしてもらっている。

6. 保護者や市民ボランティアによるよみきかせやおはなし会を実施したことがありますか。

ある 14 園 →Aへ
ない 2 園

A. 保護者や市民ボランティアによるよみきかせやおはなし会の実施状況を教えてください。

<u>名称</u>	① 富田林おはなしの会	2 園
	② ボランティア（個人）	1 園
	③ 未就園児	1 園
	④ 絵本サークル	1 園
	⑤ おはなし会	7 園
	⑥ 保護者ボランティア・サークル	4 園
	⑦ 大阪大谷大学ボランティアサークル	1 園
	⑧ 歌とおはなし	1 園
<u>頻度</u>	① 学期に1回（年間3回）	5 園
	② 月1回	4 園
	③ 年6回	2 園
	④ 月2回	1 園
	⑤ 年15	1 園
	⑥ 2回	1 園
<u>時間帯</u> （複数回答）	① 午前中	5 園
	② 午後 13:00～14:00 の間	5 園
	③ 午後 14:00～15:00（課業後保育時）	4 園
	④ 30分（クラスに）程度	1 園
	⑤ 水曜以外の午後	1 園
	⑥ 保護者の保育参加の中で	1 園

7. 子どもの読書に関する行事等を開催されていたらご記入ください。

- 週1回の絵本の貸し出し。 3 園
- 長期休業中の絵本の貸し出し。 2 園
- 月に一度、絵本タイム「絵本のよみきかせ」を実施。
- 年間を通し、日本の文化に触れる行事や避難訓練（月1回）の時に行事にちなんだ絵本、紙芝

居を使って内容を具体的に知らせるようにしている。

- 未就園児広場での読み聞かせ。
- 夏休みに図書館登園日がある。
- 誕生会や七夕の集いなどで大型絵本を活用するなど少しでもお話や物語に興味をもてるようにする。
- 誕生会、お楽しみ会、お別れ会などの行事の時にはなしサークルの方がペープサートを使い、話に親しむ機会を作っている。

8. 子どもの読書推進のために、富田林市立図書館に望むことがあれば、ご記入ください。

- 開館時間の延長。
- 子どもたちが休日に楽しく利用できるようなイベント、幼児コーナーなどを設置して、専門の人が常について、子どもが本に親しんでもらえるようにして欲しい。2園
- 移動図書館を幼稚園にも来てほしい。学期に一回でも大型紙芝居などの出張読みかきかせに来てほしい。
- 保護者向けの「絵本の選び方」「よみ方」の講座の開催か、出前講座をして頂きたい。
- 静かにすること等（マナー）はもちろん教えるのですが、幼児用のブース（防音）があれば、静かに読書される方と子どもに声を出して読んであげる保護者と居心地がよくなるのでは？
- 図書館が文化施設として、子どもの知的好奇心を満足させるような推薦図書の提示の工夫や絵本を利用した実践的な教室もあればよいように思います。
- 幼児にあったおすすめ絵本や新刊を紹介してほしい。2園
- 絵本の整理の仕方等を教えていただきたいです。

9. 子どもの読書環境をよくするために貴園で取り組みたいこと、必要と思われることをご記入ください。

- 専用の図書ルームの設置や園内の絵本の部屋の環境を整える。2園
- 時間があれば読み聞かせをしていく。
- 図書室を地域の未就園児の子ども達に開放し、同時に在園児との交流や園の様子を知っていただく一つになればと思います。
- 保護者向けの本を増やし、保護者への貸し出しも実施したい。
- 絵本の読みかきかせの大切さを幼稚園と家庭で共に大事にして実践していきたいので、講演会等を実施していく。
- 本の分類、工夫や整理をする。2園
- 本園では毎日、絵本を必ず1冊～2冊を読みかかせています。先生が中心なのでボランティアで読みかきかせいただくグループがあれば教えていただきたいと思います。
- 保護者に絵本の読み聞かせの大切さについて啓発すること。3園
園児は絵本を借り、保護者に絵本カードの記入をお願いしているので、あまり興味、関心がない保護者も必然的に読む習慣がつかず、未就園児への貸し出しは、そのようなしほりが少ないため、利用される方が少ない。子ども達が絵本に興味をもつためには、保護者の意識を変えることが大切だと思います。
- 教師の間で自身が教材研究を行い、絵本をよく知る。2園
- 金剛図書館しか現在は使わせていただけていないので（マイクロバス使用のため）中央図書館などにも足をのばせたらと思っています。

- 定期的（週1）の絵本の貸し出しを続けていく。絵本の教育的な効果を伝えていく機会をもつ。
- 長期休みの時の絵本の貸し出し。

10. その他、子ども読書活動推進計画に関するご意見がありましたらご自由にご記入ください。

- 絵本の選び方や絵本の紹介等、又よみかかせの方法など、講座を開いて頂いたり、出前講座をして頂くことで保護者の意識が高まり、幼稚園時代に本の好きな子、読んでもらうことが大好きな子になるのではと思います。幼稚園でもよみかかせ等重ねていきますが、家庭の力も大きいと思います。H22、H23は大阪府立中央図書館より保護者によみかかせの指導に来て頂き効果ありました。
- 小さいお子さんをもつ方（就園前）が、図書館を利用しやすくなればと思います。
- 図書館の方が年に何度か幼稚園に訪問をしていただき、絵本の楽しさ読書の大切さを啓発してもらえれば、子どもの興味、関心が高まるように思います。人手不足だと思いますがご検討下さい。

子ども読書活動推進計画にかかる調査（小学校）

H23年度実績調査（H22年度でも可）

小学校

回答数17校（公立16校 私立1校）

1. 学年別の生徒数をご記入ください。

	全生徒数	17校平均
1年生	983人	55人
2年生	966人	57人
3年生	969人	57人
4年生	1,123人	66人
5年生	1,106人	65人
6年生	1,190人	70人
合計	6,323人	372人

（小数点以下四捨五入）

2. 学校で所蔵されている本の冊数及び年間どのくらい購入されているかをご記入ください。

所蔵冊数

所蔵冊数	学校数	
1～6,000冊	1校	
～8,000冊	2校	
～10,000冊	12校	
～15,000冊	2校	
合計所蔵冊数		147,135冊
平均所蔵冊数		8,655冊

（小数点以下四捨五入）

購入冊数

購入冊数	学校数	
1～200冊	3校	
～300冊	7校	
～400冊	6校	
～500冊	1校	
合計購入冊数		4,844冊
平均購入冊数		285冊

（小数点以下四捨五入）

3. 学校図書館担当教諭、その他の図書館担当職員の人数をご記入ください。

兼任で司書教諭・図書館担当教諭・図書館担当職員 各1名

16校

兼任で図書館担当教諭 1名

1校

4. 授業時間以外で学校図書館を開館されている頻度・時間帯についてご記入ください。

開館曜日

週5日（月～金）	14校
週4日	2校
隔日	1校

時間帯（複数回答）

朝・始業時間前	2校
授業間の休み時間	6校
昼休み	4校
放課後	1校
全日開館と昼休みのみ開館の組み合わせ	3校
全日開館と授業間の休み時間のみ開館の組み合わせ	1校
全日	2校
夏休み開館（半日を数日）	1校

*学校図書館教員補助員の勤務日か不在かにより、開館時間の工夫がされている

5. 授業中の学校図書館の利用状況についてご記入ください。

A. 学校全体として「図書の日」にどのくらい図書館を利用していますか

頻度（複数回答）

・毎日	1校
・週1回 低学年	3校
1～4年	2校
全クラス	10校
・2週に1回 高学年	2校
・月3回 高学年	1校
・学期に数回 5・6年生	1校
・年間200時間程度	1校
・図書の時間の90%以上	1校

B. その他の授業時間に図書館をどのくらい利用していますか

教科（複数回答）

・すべての教科（特に理科、社会、総合）	1校
・国語	8校
・総合学習	15校
・社会	9校
・理科	7校
・生活	1校

頻度

・週1回	1校
・週2～3時間（各学級）	1校
・月5回程度	1校

- 学期に数回 2校
- 学期に1回 1校
- 1学期に3時間程度 (3~4年生各学級) 1校
- 学期に5~6時間程度 1校
- 年数回 3校
- 4年2時間、5年生3時間、6年5時間 1校
- その他(学年・内容により異なる、不定期、しばしば、必要に応じて) 1校ずつ
- 未記入 1校

活用内容 (複数回答)

- 調べ学習 14校
(うち、蔵書、公共図書館から借りた資料 1校
パソコンでの調べ学習と併行して使用 2校)
- 図鑑の使い方、新聞作り、 2校
- 伝記もの 1校
- 辞書、俳句、平和学習発展 1校

6. 「朝の読書」など一斉読書の時間を設けていますか。

- 設けている 17校
- ない 0校

A. 「朝の読書」等の実施状況等を教えてください。

頻度

- 毎朝 2校
- 週4回以上 1校
- 週1回以上 1校
- 週1回 10校
- 週2回 3校

本の準備方法 (複数回答)

- 自宅から持参 8校
- 学級文庫の本を使う 5校
- 学校図書館の本を使う 13校
- 公共図書館の本を使う 4校
- 各自で準備 3校

効果 (複数回答)

- 読書習慣の定着(家庭でも読書) 9校
- 本に親しむ雰囲気づくりができる 1校
- 読書が好きになる(読書への関心の向上) 7校
- 落ちついた学習態度の定着(一時限目の授業がスムーズに開始) 5校
- 読書量の増加 2校
- 子どもが家庭から勉学への切り替えができる 1校

- ・読書習慣の定着、読書への関心の向上 1校
- ・習慣化できている。次の1時間目の授業がスムーズに入れる。本が好きになった子がふえている 1校

7. 子どもの読書活動に関連して市民ボランティア(保護者を含む)を活用したことがありますか。

- ある 14校
- ない 3校

A. 市民ボランティアによるよみきかせやおはなし会の実施状況をご記入ください。

名称 (複数回答)

- ・保護者有志 5校
(E-HON, わたぼうし, ピッコロ, おはなしひろば, 本のサークル)
- ・富田林おはなしの会 9校
- ・おはなし会 2校

頻度 (複数回答)

- ・週1回 2校 (保護者ボランティア)
- ・月1~2回 3校
- ・学期に1回 9校 (富田林おはなしの会。1校は1~3年生対象)
- ・年2回 1校 (富田林おはなしの会、保護者ボランティア。1~4年生対象)
- ・年2回 1校

時間帯

- ・朝の読書 5校 (主に保護者ボランティア)
- ・授業時間 11校 (主に富田林おはなしの会)
- ・昼休み 1校

B. 上記以外の活動内容があれば、ご記入ください。

名称

- ・PTAのボランティアのよみきかせ 1校
- ・PTAおはなしひろば 1校

活動内容

- ・朝の読書タイムに読みきかせ 1校
- ・読みきかせ 1校

頻度

- ・各学級 学期に2回 1校
- ・1・2・3年生は月に1度、4年生は学期に1度、希望者のみ集めて月に1度 1校

8. 上記以外で子どもの読書に関する行事等を開催されていたらご記入ください。

- ・読書ノート活用 9校
- ・本のしおりコンクール 6校

• 図書委員による本の紹介や読み聞かせなどの取り組み	6校
• 読書週間の取り組み	5校
• 本の帯コンクール参加	4校
• 読書感想文、感想画への参加	4校
• 多数読書の児童の表彰	3校
• クイズ	3校
• 図書館まつり・ブックフェスティバル	2校
• 本の紹介（朝礼時）	2校
• 夏・冬休みのための全校貸出	2校
• ゴールデンウィークスペシャル企画	
• 読書コンクール	
• 読書マラソン	
• もう1冊かりられます券発行	
• めざせ40さつ	
• 家庭での読書推進	
• 音読の宿題	

9. 子どもの読書活動推進のために富田林市立図書館に望むことがあれば、ご記入ください。

• 自動車文庫の復活。	2校
• 図鑑等の複数セットの貸出。	2校
• ブック便の充実（回数増、受け渡しの改善、希望日に配本）	2校
• 学校図書館貸出のためだけの資料の確保。	2校
• 図書館の建設。	
• 現在の業務内容の維持。	
• 市立図書館所蔵資料の把握のために、書庫見学。	
• 授業内容に即した新しい本の紹介。	
• 蔵書の充実。	
• 市立図書館と学校図書館のオンライン化。	
• 調べ学習用資料の充実。	
• 月曜日の開館。	

10. 子どもの読書環境をよくするために貴校で取り組みたいこと、必要と思われることをご記入ください。

• 蔵書の更新・充実。	9校
• 学校図書館の読書環境の改善・充実。	7校
• 図書館の年間指導計画の策定（学校教育計画と関連づけて行うなど）	2校
• 蔵書冊数把握。	
• 「図書の日」の充実。	
• 学校生活のなかでのゆとり。	
• 開館時間増のための学校図書館補助員の配置。	
• 本の読み聞かせや本の紹介等の充実。	

11. その他、子ども読書活動推進計画に関するご意見がありましたらご自由にご記入ください。

- 子どもが読書に親しむ機会をさらに増やしたい。
- 子どもが読書に親しむ環境をさらに充実させていただきたい。
- 公共と学校図書館の連携は欠かせないと思われます。
- 子ども読書活動推進計画委員会の発足に期待しています。
現場に即した子どもたちのための計画であることを願います。
- ペーパーによる調査ばかりでなく、図書館と学校の教職員が顔を合わせ子どもの実情など交流しあえれば、互いにより情報交換になり計画立案にも寄与することと思う。
- 「とっぴー」コンクール等の継続等、市全体で「子どもたちの読書」を応援してほしい。
- 推進計画委員のメンバーの中に現職の図書館担当教諭に入ってもらうなど、現場の声も十分生かしてほしい。計画で終わらせることなく、短期・中・長期の見通しをもって、実践の検証もして行ってほしい。

子ども読書活動推進計画にかかる調査（中学校）

H23 年度実績調査（H22 年度でも可）

中学校 回答数10校（公立8校 私立2校）

1. 学年別の生徒数をご記入ください。

	全生徒数	10校平均
1年生	1,364人	136人
2年生	1,359人	139人
3年生	1,399人	140人
合計	4,122人	412人

（小数点以下四捨五入）

2. 学校で所蔵されている本の冊数及び年間どのくらい購入されているかをご記入ください。

所蔵冊数

所蔵冊数	学校数	
1～7,000冊	1校	
～9,000冊	3校	
～11,000冊	3校	
～13,000冊	1校（*中高で）	
～15,000冊	1校	
30,000冊以上	1校	
合計所蔵冊数		124,342冊
平均所蔵冊数		12,434冊

（小数点以下四捨五入）

購入冊数

購入冊数	学校数	
1～300冊	3校（*うち1校は中高で）	
～400冊	4校	
～500冊	2校	
～600冊	1校	
合計購入冊数		3,692冊
平均購入冊数		369冊

（小数点以下四捨五入）

3. 学校図書館担当教諭、その他の図書館担当職員の人数をご記入ください。

*兼任で司書教諭・図書館担当教諭・図書館担当職員 各1名	8校
*兼任で司書教諭・図書館担当教諭 各1名	1校
*専任で図書館担当職員1名(中高で)	
兼任で司書教諭1名(中学で)・図書館担当教諭3名(中高で)	1校

4. 授業時間以外で学校図書館を開館されている頻度・時間帯についてご記入ください。

開館曜日

・月～金	8校(うち1校は、休暇中は補習期間のみ)
・月・火・木	1校
・夏休み・冬休み	1校

時間帯

・ 昼休み	9校
うち昼休み以外の時間も開館 5校	
(月～水 8:30～16:30、木・金 8:30～15:00)	
(放課後、日によってちがう～16:30)	
(月～水 8:15～14:45)	
(13:00～15:30)	
(9:30～11:30、12:30～16:20)	
・ 生徒の登校日に応じて開館日・時間を設定	1校

5. 授業中の学校図書館の利用状況についてご記入ください。

A. 学校全体として「図書的时间」にどのくらい図書館を利用していますか

頻度

・月1回	1校
・不定期	1校
・2年生で各クラス週1時間	1校
・図書的时间はありません	1校
・未記入	1校

B. その他の授業時間に図書館をどのくらい利用していますか

教科 (複数回答)

・国語	6校
・総合学習	4校
・社会	3校
・理科	2校
・美術	2校
・技術家庭	1校
・書道	1校
・学活	1校

頻度

- ・ 月1回 1校
- ・ 月2回くらい 1校
- ・ 学期に1度程度 1校
- ・ 教材によって学期に4～5回 1校
- ・ 学期に、1か年に1程度 1校
- ・ 年に数回 1校
- ・ 年に30時間 1校
- ・ 各教科各2～5時間くらい 1校
- ・ とりくみ内容に応じて 1校
- ・ 必要な時間のみ 1校

6. 「朝の読書」など一斉読書の時間を設けていますか。

- 設けている 8校
- ない 2校

A 「朝の読書」等の実施状況等を教えてください。

頻度

- ・ 毎日 5校 (8:30～8:40 1校、8:20～8:30 1校)
- ・ 中1中2は週2、中3は週1回 朝の10～15分 1校
- ・ 朝読週、朝学習週、新聞(コラム)週の三交代 1校
- ・ 中1の4月いっぱい 1校

本の準備方法(複数回答)

- ・ 各自持参 9校
(学級文庫より借りる)、(図書室からの学級貸出)、(学級図書として数十冊)
(図書室貸出 2校)
- ・ 学年で用意 1校

効果(複数回答)

- ・ 読書の習慣づけとして効果をあげている 2校
- ・ 1時間目を落ちついてむかえられる 2校
- ・ 習慣的に本とふれあう時間を持つことで本への苦手意識を緩和することができた 1校
- ・ 本の内容について話すようになったり、子供たちの中で流行する本が出たりする。読書のきっかけになる 1校
- ・ 読書への興味関心がふえている 1校
- ・ 図書室利用の頻度が増加した 1校
- ・ 校区小学校と連携して朝読書を小学校から実践している。府の学力テストの結果では、読解力が上昇傾向にある 1校
- ・ 授業に取り組む姿勢を養うことができている 1校

7. 子どもの読書活動に関連して市民ボランティア(保護者を含む)を活用したことがありますか。

ある	1校
ない	8校
記述なし	1校

A 市民ボランティアによるよみきかせやおはなし会の実施状況をご記入ください。

名称

・(教団からのボランティア) 業務全般	1校
---------------------	----

頻度

・毎日(開館日)	1校
----------	----

時間帯

・9:30~11:30、12:30~16:20	1校
-------------------------	----

B 上記以外の活動内容があれば、ご記入ください。

記述なし

8. 上記以外で子どもの読書に関する行事等を開催されていましてらご記入ください。・

- ・ 読書感想文コンクールへの参加 2校
- ・ 読書週間に図書委員さんによるポスター作り
- ・ 「本の紹介」募集
- ・ 本のPOP広場コンクールへの参加
- ・ 春秋2回、読書の時間等で読んだ本の中から1冊を選びおすすめの1冊を文章とイラストで紹介する「おすすめ本コンテスト」を開催している(1年のみ)
- ・ 夏休み 1~3年に読書感想文を宿題として出し、学校のコンクールにとどまらず市のコンクール(市*研学校図書館主催)地区のコンクールに応募
- ・ 図書委員会による本の紹介
- ・ 新入生オリエンテーション
- ・ 学期毎の特別企画(例、龍馬特集)
- ・ 夏休み特別貸出

9. 子どもの読書活動推進のために富田林市立図書館に望むことがあれば、ご記入ください。

- ・ 中学校の授業内容に添った本やおすすめの小説があたらしくはいたら紹介していただけると嬉しいです。
ブック便を活用している。内容の充実を希望する。 3校
- ・ 今子どもに読ませたいオススメ本の紹介(読書案内)を月1程度配布して欲しい。(色々なジャンルの本を紹介して欲しい)
- ・ 日常的に公立図書館と学校図書館の連携がない(ブック便程度?)。もっと効率的な方法はないものか?学校司書さんのスキルアップのための研修会の開催や本に関する意見交換など。
- ・ 幅広い選書による蔵書の充実を希望します。
- ・ 開館時間の延長はたいへんありがたい。おかげで6:00部活動終了後でも利用できるようになった。

10. 子どもの読書環境をよくするために貴校で取り組みたいこと、必要と思われることをご記入ください。

- ・ その季節にあった展示をしているが、そのコーナーの貸出が伸びないので図書便りや掲示板を活用して多くの生徒にアピールしていきたい。古い本は分類ラベルがついていないのでつけていきたい。
- ・ 古い本の廃棄整理。配架の工夫。生徒の読書傾向の把握による今よみたい本の蔵書構築。
- ・ 地域から「リサイクル運動」で制服などを活用するように、地域から本を寄贈していただき、蔵書を充実させたい。
- ・ 図書室の整備を進める（配置、本の購入計画）。
- ・ 利用者の偏りをなくす（中3になると減少）。

11. その他、子ども読書活動推進計画に関するご意見がありましたらご自由にご記入ください。

記述なし

子ども読書活動推進計画にかかる調査（高校）

H23 年度実績(H22 年度でも可)

高校

回答数4校（公立2校 私立2校）

1. 学年別の生徒数をご記入ください。

	全生徒数	4 校平均
1 年生	1,146 人	287 人
2 年生	1,063 人	266 人
3 年生	1,107 人	277 人
合計	3,316 人	829 人

(小数点以下四捨五入)

2. 学校で所蔵されている本の冊数及び年間どのくらい購入されているかをご記入ください。

所蔵冊数

所蔵冊数	学校数	
1～10,000 冊	1 校	
～20,000 冊	1 校	
～30,000 冊	1 校	
～40,000 冊	1 校	
合計所蔵冊数		81,131 冊
平均所蔵冊数		20,283 冊

(小数点以下四捨五入)

* 4校のうち、中高校で所蔵1校を含む。

購入冊数

購入冊数	学校数	
1～300 冊	1 校	
～400 冊	1 校	
～500 冊	2 校	
合計購入冊数		1,537 冊
平均購入冊数		384 冊

(小数点以下四捨五入)

* 4校のうち、中高校で購入1校を含む。

3. 学校図書館担当教諭、その他の図書館担当職員の数をご記入ください。

- (兼任) 司書教諭 1名、図書館担当教諭 5名、図書館担当職員 1名
- (兼任) 図書館担当教諭 3名、図書館担当職員 1名
- (専任) 図書館担当職員 1名、(兼任) 司書教諭 1名、図書館担当教諭 3名

- *図書館担当職員（専任）一名は、「中高校で」。
- *図書館担当教諭（兼任）3名は、「中高校で」1校を含む
- ・(兼任) 司書教諭 1名、図書館担当教諭 1名

4. 授業時間以外で学校図書館を開館されている頻度・時間帯についてご記入ください。

開館曜日

月曜～金曜 4校
* 1校は、休暇中の補習期間も開館

時間帯

昼休み 4校
(放課後も 3校、9:30～11:30、12:30～16:20 1校)

5. 授業中の学校図書館の利用状況についてご記入ください。

教科 (複数回答)

国語 2校
美術・社会・体育・図書室オリエンテーション 1校
英語 1校
未記入 1校

頻度

週1回 1校
年1回 1校
10種類ぐらい 1校
未記入 1校

活用内容

・オリエンテーション 1校
・調べもの学習、発表の資料閲覧 1校
・速読 1校
・未記入 1校

6. 「朝の読書」など一斉読書の時間を設けていますか。

設けている 1校
ない 3校

A. 「朝の読書」等の実施状況等を教えてください。

頻度

・毎日 1校

本の準備方法

・図書館予算とは別枠で購入 1校

効果

・1限の授業にスムーズに入ることができる。遅刻者の減少。 1校 7. 子どもの

7. 読書活動に関連して市民ボランティア(保護者を含む)を活用したことがありますか。

ある	1校
ない	3校

A. 市民ボランティアによる活動の実施状況をご記入ください。

名称	(教団からのボランティア) 業務全般	1校
頻度	毎日(開館日)	1校
時間帯	9:30~11:30, 12:30~16:20	1校

8. 上記以外で子どもの読書に関する行事等を開催されていたらご記入ください。

- ・ 新入生オリエンテーション
- ・ 学期毎の特別企画(例、龍馬特集)
- ・ 夏休み特別貸出
- ・ 秋の読書週間
- ・ 読書甲子園参加
- ・ 「読書感想文コンクール」
(毎年、夏休みの国語科から推薦図書を示し、全校生徒に読書感想文等を書かせ、校内選考の上、各種コンクールに出展している。)

9. 子どもの読書活動推進のために富田林市立図書館に望むことがあれば、ご記入ください。

- ・ お互いの蔵書を共有できるシステムがあると嬉しい。イベント等の案内をいただけたら、生徒に参加を呼びかけたい。

10. 子どもの読書環境をよくするために貴校で取り組みたいこと、必要と思われることをご記入ください。

- ・ 図書館(近辺含む)の環境整備。机、イス、ソファ類を新しく、開放的にしたい。
- ・ 図書館等と協力して、本校生徒が様々な読書活動に参加し、またその成果を本校の他生徒に広めるようなことができれば良いと思う。
- ・ 利用者の偏りをなくす。(高3になると減少)

11. その他、子ども読書活動推進計画に関するご意見がありましたらご自由にご記入ください。

- ・ 記述なし

子ども読書活動推進計画にかかる調査 (学童クラブ)

平成23年度実績調査 (H22年度でも可)

学童クラブ 回答数 19クラブ
平均在籍数 44人

1. 所蔵されている本の冊数及び年間どのくらい購入されているかをご記入ください。

所蔵冊数 (無記入 3クラブ)

所蔵冊数	学童クラブ数	
1~100冊	1	
~200冊	10	
~300冊	4	
~400冊	0	
~500冊	1	
合計所蔵冊数		3,590冊 (平均224冊)

(小数点以下四捨五入)

内訳記入

※冊数にマンガを含む学童クラブ、マンガを除く学童クラブあり。

購入等冊数 寄贈を含む (無記入 5クラブ)

購入冊数	学童クラブ数	
0冊	2	
1~10冊	4	
~20冊	2	
~30冊	2	
~40冊	0	
~50冊	3	
50冊以上	1	(マンガ古本50冊含む)
合計購入冊数		327冊 (平均23冊)

(小数点以下四捨五入)

2. 富田林市立図書館の団体貸出を利用されたことがありますか。

(どちらかに○印をつけてください。)

無記入 3クラブ
ある 13クラブ →Aへ
ない 3クラブ →Bへ

A. 利用されている場合、使いにくい点や改善してほしい点があればご記入ください。

- 移動図書館、巡回貸出など小学校に来てほしい。(特に夏休み。) 5クラブ
- 大型絵本の貸出し期間をのばしてほしい。
- 希望図書がない場合、対応がスムーズになれば嬉しいです。
- 紙芝居、大型絵本、大型紙芝居を充実させてほしい。
- たくさんの本を借りるため、車まで運ぶためにカートなどがあれば便利。
- 紙芝居や工作の本、又他の児童書も増やしてほしい。

B. 利用されていない場合、その理由をお聞かせください。

- 管理上の問題。
- 利用する子は、個人で行っています。
- 図書館が遠い。

3. 先生によるよみきかせをされていますか。(どちらかに○印をつけてください。)

している 12クラブ →Aへ
していない 7クラブ

A. よみきかせの実施状況を教えてください。

- 学校の図書館でかりた本を読んであげている。
- 月・水はおやつ前に指導員が紙芝居。夏休みは休息の時に、怖いお話やあらしの夜にのシリーズを毎日読み聞かせをしていました。
- 高学年が中心によみきかせをしている。
- 毎日、休息時間に 15分～20分

頻度 (複数回答)

- | | |
|--------------|------|
| ① 毎日(一日保育含む) | 4クラブ |
| ② 週2～3回 | 1クラブ |
| ③ 週1～2回 | 3クラブ |
| ④ 時々 | 2クラブ |
| ⑤ 夏休み | 2クラブ |
| ⑥ 子どもたちが望む時 | 1クラブ |

時間帯 (複数回答)

- | | |
|---------------|------|
| ① 午後1:00～2:00 | 2クラブ |
| ② おやつ前後 | 6クラブ |
| ③ 休息時間 | 2クラブ |
| ④ 降所前 | 1クラブ |
| ⑤ 午後5:00以降 | 1クラブ |
| ⑥ 決まっていない | 1クラブ |

4. よみきかせ以外での本の活用方法についてご記入ください。

例えば、工作やごっこ遊びに活用など

- ・ 食事やおやつの後、自由時間に読書するようにしている。 7クラブ
- ・ 工作、あやとりやおり紙の本などを教本にして活用している。 6クラブ
- ・ おやつや終わりの会で紙芝居を読む。 3クラブ
- ・ 夏休み、休息の時間の中・高学年が読みきかせ、各自でも読む。
- ・ 終わりの会でなぞなぞをしてくれる。

5. 保護者や市民ボランティアによるよみきかせやおはなし会を実施したことがありますか。

ある 13クラブ →Aへ
ない 6クラブ

A. 保護者や市民ボランティアによるよみきかせやおはなし会の実施状況をご記入ください。

名称 (複数回答)

- ① 梅干しばあちゃん 8クラブ
- ② 金剛紙芝居 5クラブ
- ③ お話の会 2クラブ
- ④ お寺の出前、紙芝居、おはなし会 1クラブ
- ⑤ ソニャーレ (オカリナ) 1クラブ
- ⑥ たふたふ 1クラブ
- ⑦ 大阪大谷大学 1クラブ

- 頻度
- ① 年に1回 (夏休みなど) 6クラブ
 - ② 年に2回 3クラブ
 - ③ 2か月に1回 2クラブ
 - ④ 月1回ぐらい 1クラブ
 - ⑤ 過去に利用したが、ここ最近ない。 1クラブ

- 時間帯
- ① 午前中 4クラブ
 - ② 午後 14:00~15:00 4クラブ
 - ③ 午後 13:00~15:00 2クラブ
 - ④ 回答なし 3クラブ

6. 子どもの読書に関する行事等を開催されていたらご記入ください。

- ・ お誕生会、クリスマス会などイベントでの大型紙芝居や読み聞かせ。 3クラブ
- ・ 子ども達が紙芝居を読んだり、指導員が読み聞かせしたりしている。 2クラブ
- ・ おはなし会
- ・ 今年度は、雨二モマケズの詩をおぼえる予定。

7. 子どもの読書推進のために、富田林市立図書館に望むことがあれば、ご記入ください。

- 巡回の図書館をもう一度復活させてほしい。 3クラブ
- 土曜日などに読み聞かせ（おはなし会）をしてほしい。 3クラブ
- 図鑑やパズルゲームの本などを増やしてほしい。 2クラブ
- 簡単に借りられる様にして欲しい。
- 新しい本の紹介を（HPでしているかな？）図書館に行かなくてもわかるようにしてほしい。 図書館を明るく、広くしてほしい。
- 徒歩で行ける施設で、工作教室などイベントを開催してほしいです。
- 破損している本が多々見受けられますので、確認の程宜しくお願いします。
- 図書館で読むためにイス、テーブルが少ない。

8. 子どもの読書環境をよくするために貴施設で取り組みたいこと、必要と思われることをご記入ください。

- 本のたいせつさをおしえてあげてほしい。
- おやつ後、全員で一斉に読書をする。
- 本の内容の充実を望みたいですが、予算があるので限りがあります。でも本の数を出来るだけ増やして行きたいです。
- 子どもがすぐ読めて読んだ後、心が優しくなれるような内容の本、おもしろい本など、「子どもにすすめたい本」の情報を見ながら紹介していきたいと思います。
- 現在おやつ前の時間を利用して毎日子ども達が紙芝居を読んでいる。
- 人形劇か映画会をして原作に興味を持たせる。

9. その他、子ども読書活動推進計画に関するご意見がありましたらご自由にご記入ください。

- 本の中で疑似体験が出来ることが、今の子どもたちには絶対必要なことだと思う。
- 移動図書館に、又来てほしいと思います。
- 映画会、お芝居を催していただき原作に興味を持たせたり、今はやりのものに敏感になってほしい。ベストセラーなどの講演会なども企画してほしい。マンガも今や日本の文化！マンガも増やしてほしい。

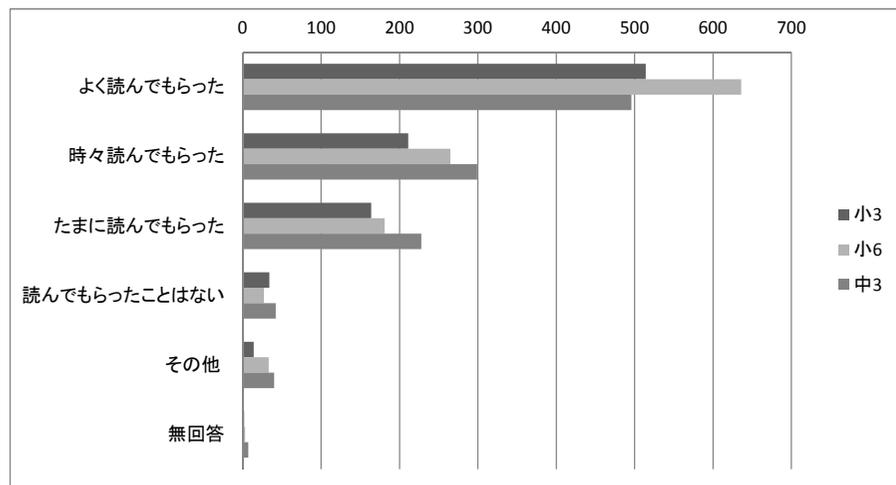
子ども読書アンケート

小学校17校 小3 933名 小6 1142名 中学校10校 中3 1111名 総計3186名 回収率89.5パーセント

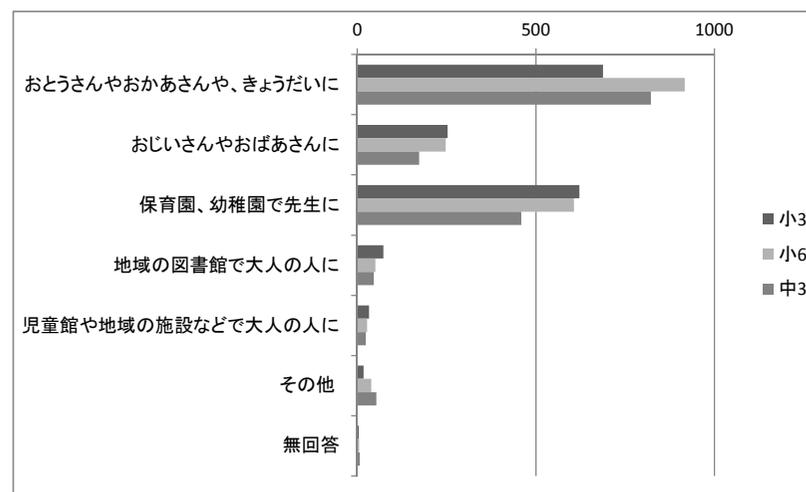
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑧	
1	あなたは小さい頃、絵本や本をよんでもらいましたか	よく読んでもらった	時々読んでもらった	たまに読んでもらった	読んでもらったことはない	その他	無回答				
	小3	514	211	164	34	14	2				
	小6	636	265	181	27	25	3				
	中3	496	299	228	42	33	7				
2	それは、だれに読んでもらいましたか(いくつでも)	おとうさんやおかあさんや、きょうだいに	おじいさんやおばあさんに	保育園、幼稚園で先生に	地域の図書館で大人の人に	児童館や地域の施設などで大人の人に	その他	無回答			
	小3	688	253	622	73	33	18	4			
	小6	917	247	607	51	27	39	5			
	中3	822	173	459	46	24	53	7			
3	読書が好きですか	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない	無回答					
	小3	567	263	67	34	8					
	小6	520	389	139	85	10					
	中3	323	450	208	128	4					
4	この6月中で何冊ぐらい本を読みましたか(教科書・マンガ・雑誌以外で)	0冊	1~3冊	4~6冊	7~9冊	10冊以上	無回答				
	小3	27	104	145	145	512	1				
	小6	94	349	298	130	272	1				
	中3	362	571	87	18	68	2				
5	あなたは主にどんなものを読みますか(3つまで)	えほん	小説や物語	伝記や歴史	科学の本	スポーツや趣味の本	学習マンガ	ゲームの本	その他	無回答	
	小3	393	422	130	169	227	268	250	25	79	2
	小6	67	736	314	87	281	333	185	73	132	8
	中3	34	763	71	44	325	89	105	85	154	16

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑧
6	読みたい本はどのようにして手に入れますか(いくつでも)(教科書・マンガ・雑誌以外)	学校図書館や学級文庫で借りる	市の図書館で借りる	友達に借りる	買う	その他	無回答			
	小3	525	381	87	481	32	7			
	小6	628	376	164	653	31	13			
	中3	223	162	250	862	40	14			
7	あなたは自分の読む本をどのようにして選んでいますか(教科書・マンガ・雑誌以外)	自分で選ぶ	先生のすすめで	家族のすすめで	友達のすすめで	その他	無回答			
	小3	850	18	120	72	13	2			
	小6	1057	28	79	147	16	11			
	中3	981	5	67	125	55	6			
8	あなたは授業以外で学校図書館をどのくらい利用したことがありますか	週1回くらい	月1回くらい	半年に1回くらい	年に1回くらい	利用したことはない	無回答			
	小3	539	197	65	53	77	6			
	小6	461	291	177	121	88	6			
	中3	159	171	186	243	346	7			
9	授業以外で学校図書館を利用したことがある人だけ教えてください。 あなたは授業以外で学校図書館をなんのために利用しましたか いくつでも○をつけてください。	調べものをするため	本を借りるため	本を読むため	友達とおしゃべりするため	その他	無回答			
	小3	325	422	563	15	29	35			
	小6	345	556	595	44	37	50			
	中3	88	314	373	115	47	54			
10	あなたは市立図書館をどのくらい利用しますか	週1回くらい	月1回くらい	半年に1回くらい	年に1回くらい	利用しない	無回答			
	小3	202	220	153	151	203	13			
	小6	99	271	271	209	294	0			
	中3	36	105	161	259	547	5			

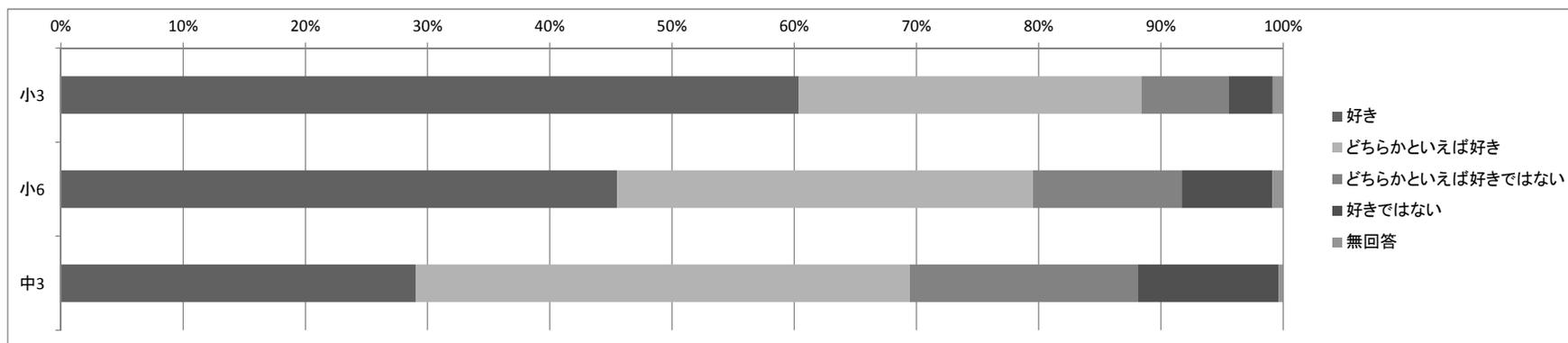
1 あなたは小さい頃、絵本や本をよんでもらいましたか



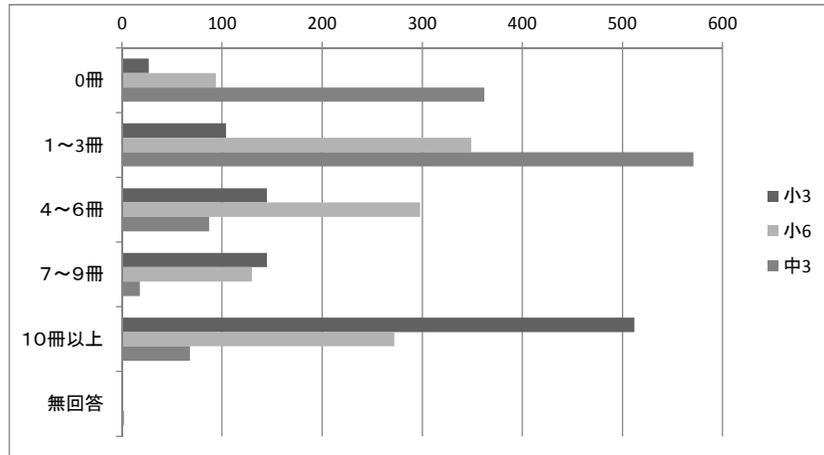
2 それは、だれに読んでもらいましたか(いくつでも)



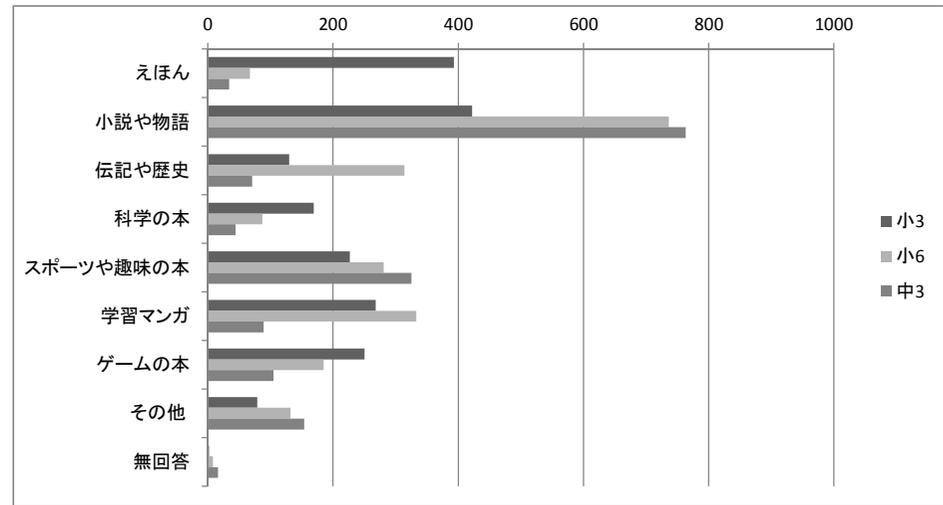
3 読書が好きですか



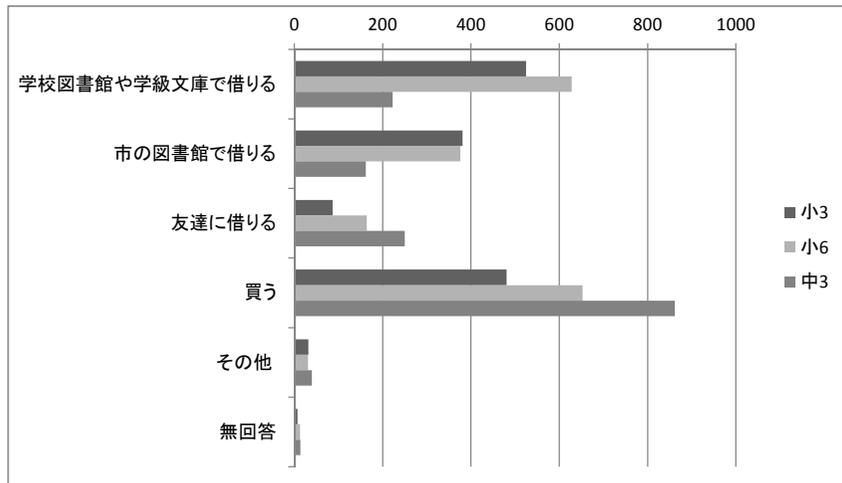
4 この6月中で何冊ぐらい本を読みましたか(教科書・マンガ・雑誌以外)



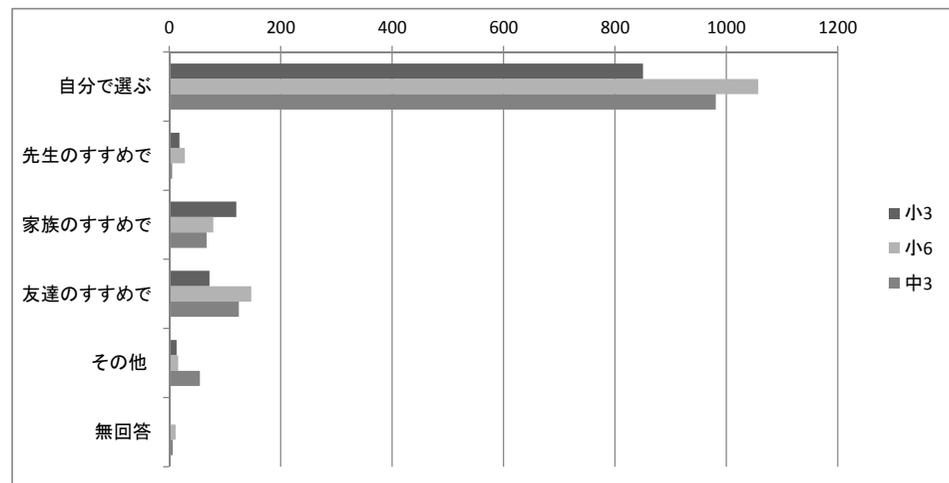
5 あなたは主にどんなものを読みますか (3つまで)



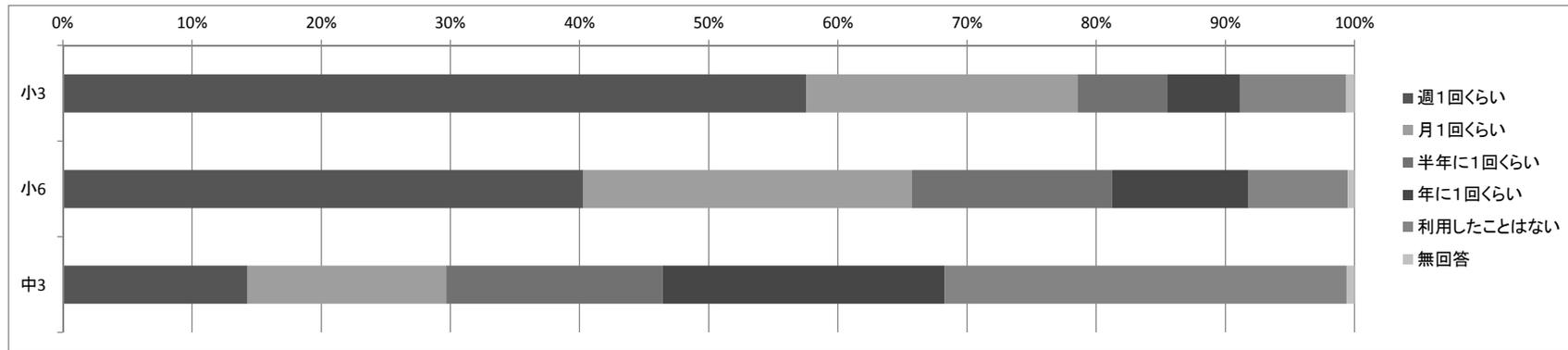
6 読みたい本はどのようにして手に入れますか(いくつかでも)(教科書・マンガ・雑誌以外)



7 あなたは自分の読む本をどのようにして選んでいますか(教科書・マンガ・雑誌以外)

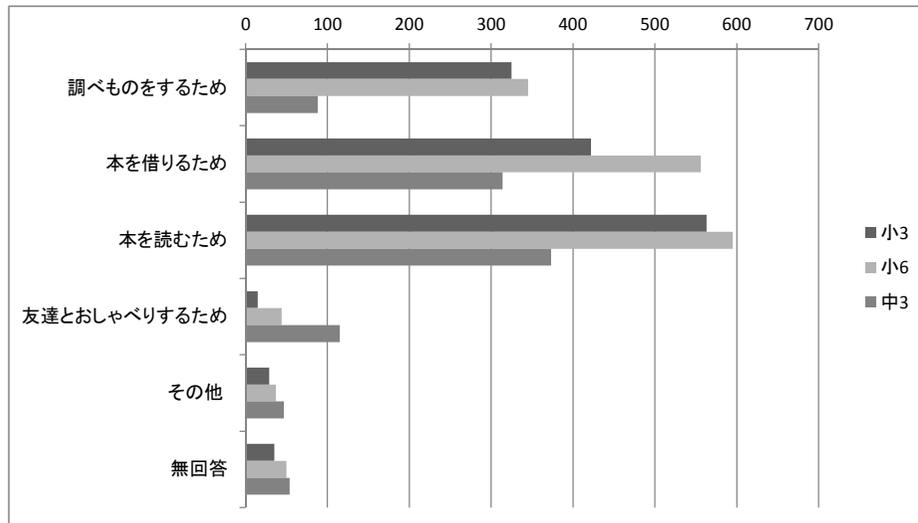


8 あなたは授業以外で学校図書館をどのくらい利用したことがありますか

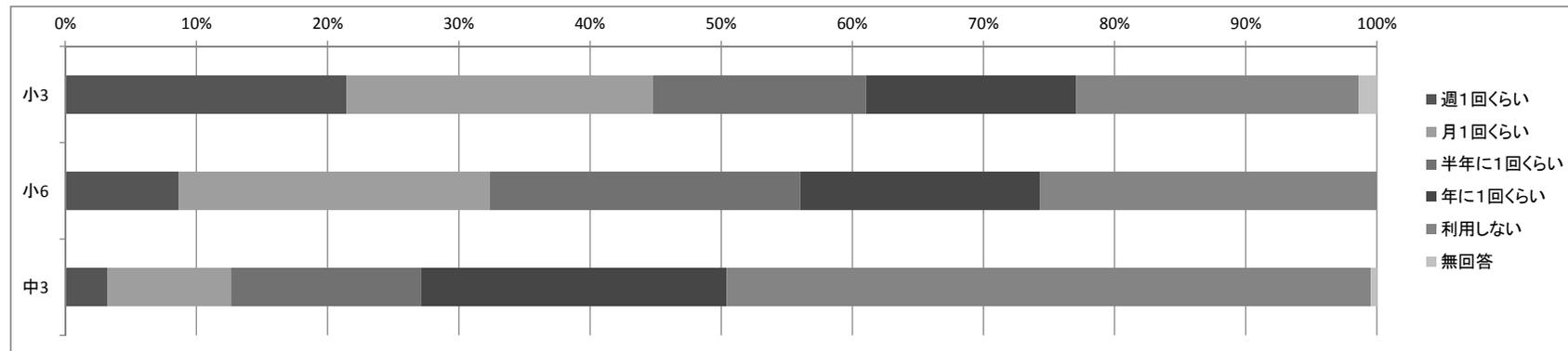


授業以外で学校図書館を利用したことがある人だけ教えてください。

9 あなたは授業以外で学校図書館をなんのために利用しましたか
いくつでも○をつけてください。



10 あなたは市立図書館をどのくらい利用しますか



4か月健診アンケート

対象人数

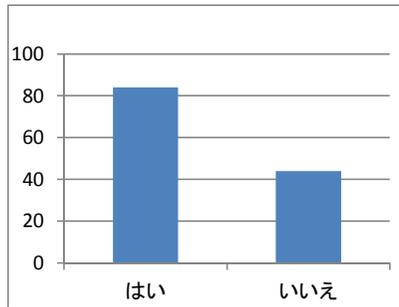
129

回収人数

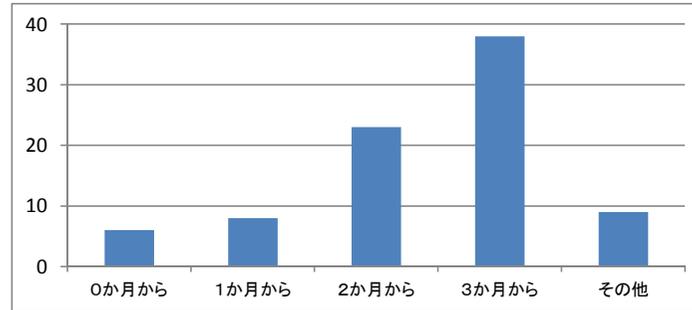
128

①	お子さんに絵本を読んであげていますか	はい	いいえ			
		84	44			
	はじめて読んであげたのは	0か月から	1か月から	2か月から	3か月から	その他
		6	8	23	38	9
		ア	イ	ウ	エ	オ
②	読んであげている絵本は	家にあった	購入した	図書館で借りた	その他	
		51	32	11	12	
③	どのくらいの頻度で読んであげていますか	毎日	週3～4日	週1～2日	時々	決まっていない
		14	11	8	27	24
④	主に読んであげている人は誰ですか	母	父	祖母	祖父	その他
		79	11	7	0	12
⑤	主にいつ読んでいますか	夜寝る前	日中	決まっていない		
		8	38	39		
⑥	読んでいない理由は	時間がない	絵本がない	どれを読んでいいかわからない	まだ早いから	その他
		19	11	3	19	3
⑦	ご意見等					

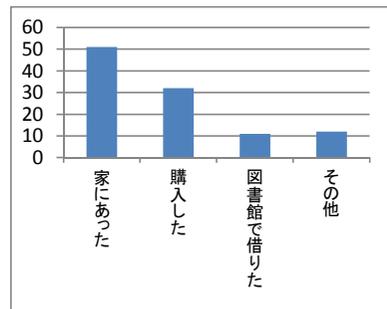
① お子さんに絵本を読んであげていますか



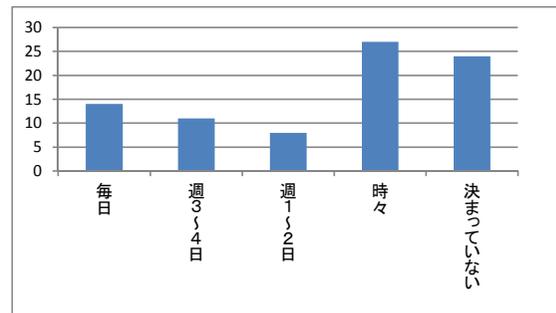
はじめてよんであげたのは



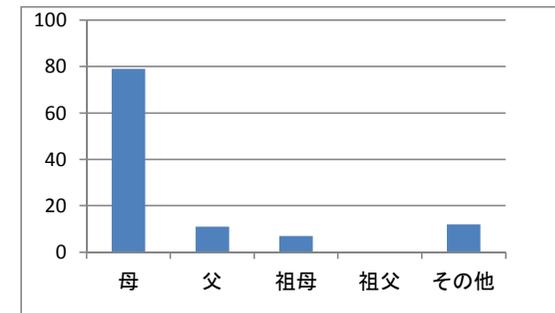
② 読んであげている絵本は



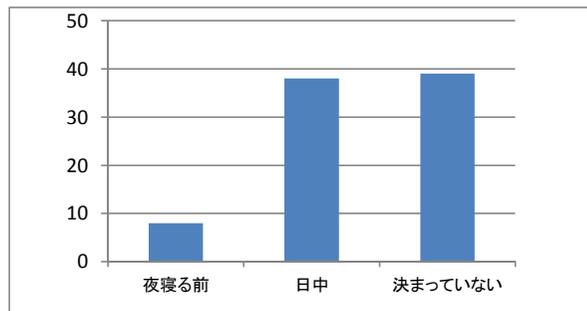
③ どのくらいの頻度で読んであげていますか



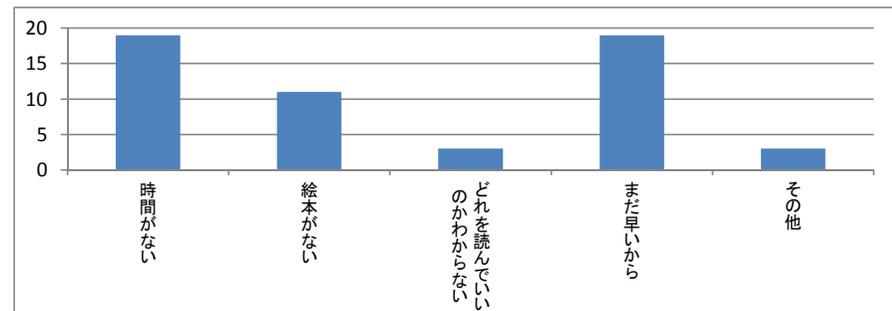
④ 主に読んであげている人は誰ですか(受診児から見て)



⑤ 主にいつ読んでいますか



⑥ 読んでいない理由は



子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）

（目的）

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が

策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。

二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。

三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことのできる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。

四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。

五 子どもへの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。

六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

子ども読書活動推進計画策定までの経過

日 時	内 容
平成24年6月29日	第1回子ども読書推進計画策定委員会（以下策定委員会） 委嘱状交付 委員長・副委員長選出 子ども読書活動推進計画の概要 子ども読書活動推進計画策定のスケジュールについて アンケートの実施について
平成24年7月	アンケート調査実施
平成24年8月30日	第2回策定委員会 子ども読書活動推進計画素案について アンケートの中間報告について
平成25年9月27日	教育委員会9月定例会議 子ども読書活動推進計画素案について(中間報告)
平成24年11月1日	第3回策定委員会 子ども読書活動推進計画素案について アンケート結果について
平成24年11月21日	第2回図書館協議会 子ども読書活動推進計画素案について
平成25年1月10日 ～2月8日	パブリックコメント実施
平成25年2月15日	第2回社会教育委員会議 子ども読書活動推進計画素案について
平成25年2月21日	第4回策定委員会 子ども読書活動推進計画最終(案)について パブリックコメント報告について
平成25年3月26日	教育委員会3月定例会議 子ども読書活動推進計画(案)について

富田林市子ども読書活動推進計画策定委員名簿

任期 平成24年6月～計画策定まで

区分	氏名	備考	
市民委員代表	鈴木善勝	図書館協議会委員長	
	藤井郁子	富田林子ども文庫連絡会代表	
	中野直子	PTA 代表	
識見を有する者	松井純子	大阪芸術大学	
関係機関代表	的場広旨	校長会代表	
	中島芳昭	幼稚園長会代表	
	阪上好美	保育園長会代表	
行政関係者	池端光明	健康推進部	健康づくり推進課長
	森島彰	子育て福祉部	子育て支援課長
	米田二男		保育課長
	溝上進		児童館長
	東野亨	教育総務部	教育総務課長
	中道雅夫	教育総務部 教育指導室	教育指導室次長
	野浦高義	生涯学習部	社会教育課長
	松井謙之		中央図書館長
	中田順子		金剛図書館長

富田林市子ども読書活動推進計画

発行年月 平成25年3月

発行 富田林市生涯学習部 中央図書館

〒584-0093 大阪府富田林市本町 16 番 28 号

Tel 0721-25-4921

Fax 0721-25-4932

<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/public/section/library/>